

[第1号議案]

「防災塾・だるま」平成 27 年度（2015 年度）活動報告

2015 年 4 月 24 日開催の第 7 回総会で承認された、2015 年度「活動計画」に基づき、「役員会」及びテーマ別に委員会などを組織し活動を展開。

I 活動報告

2015 年度活動計画（主催・共催活動：10 項目、参加・見学等：3 項目）に基づき活動を展開。
尚、下記活動計画については委員会を立上げ計画を推進。

防災・減災に関する意見提案	・・・パブリックコメントなどへの対応
地域防災への協力講座（地域貢献事業）	・・・六角橋地域ケアプラザなど
学校防災への協力講座（地域貢献事業）	・・・横浜市立港中学など
地域防災への協力活動（地域貢献事業）	
だるま防災教育資料の編集・管理	
会員向け学習会の開催	
防災活動団体との交流・・・神奈川県太井町など	

[主催・共催活動]

1. 防災塾・だるま「定例会」及び「防災まちづくり談義の会」の運営

- ・開催日及び参加者

月 日	だるま定例会	参加者	談義の会	参加者	備考（役員会等）
4月24日	2015年 4月 ・第7回総会	27名	第118回	29名	4/14 第67回役員会
5月29日	2015年 5月	28名	第119回	39名	5/12 第68回役員会
6月26日	2015年 6月	28名	第120回	30名	6/2 第69回役員会
7月31日	2015年 7月	29名	第121回	42名	7/14 第70回役員会
8月21日	2015年 8月	22名	第122回	38名	8/4 第71回役員会
9月25日	2015年 9月	18名	第123回	37名	9/8 第72回役員会
10月16日	2015年10月	20名	10周年記念事業 第124回	34名	10/6 第73回役員会
11月27日	2015年11月	26名	第125回	31名	11/10 第74回役員会
12月18日	2015年12月	27名	第126回	33名	12/1 第75回役員会 合同懇親会(37名参加)
1月29日	2016年1月	20名	第127回	26名	1/12 第76回役員会
2月26日	2016年2月	29名	第128回	30名	2/9 第77回役員会
3月25日	2016年3月	24名	第129回	26名	3/8 第78回役員会
年間参加者計	昨年度 280名	298名	昨年度 360名	395名	

*各回の詳細は [だるまHP](#)を参照

参加者数：会員以外の参加者含む

添付資料 「防災塾・だるま」10周年記念誌 参照

- ・議事録、レポート、報告書等記載内容の見直し

活動メンバー：池田、紅林、佐藤、中島、早川

作成負荷低減、記載内容の統一を目的とし、①「役員会議事録」、「だるま定例会議事録」、「談義の会レポート」の見直し、②「だるま協力事業の計画書・活動報告」用帳票の作成及び③会計管理システムに新アプリを採用し運用。

- ・「防災塾・だるま」紹介活動

活動メンバー：池田、佐藤、田中（晃）、田中（喜）、中島

- 1)「防災まちづくり談義の会」開催チラシのカラー化 各回 300～500 部作成
作成スケジュール・配布先・配布方法などについて来年度も継続検討する。
- 2)「防災塾・だるま紹介」英文版の作成（英訳はリンダマン香織氏：談義の会講師）
9月に「防災塾・だるま紹介」英文版をHPにアップ完了。
- 3)「防災塾・だるま」紹介チラシ
内容の見直し・増刷：カラー版を 1000 部作成、11 月より配布を開始。
- 4) 地方議会人（7月号）への投稿・掲載
6 月、月刊「地方議会人」（市町村議会議員対象に発行）を出版する㈱中央文化社より 7月号特集「減災社会をみんなでつくる」への投稿（テーマ 地域防災力の向上をめざす「防災塾・だるま」の取り組み）の依頼があり対応。

- ・「防災塾・だるま」名刺の見直し

9 月、基本デザイン、データ形式（中島さん作成）を協議・役員で試行。10 月統一デザイン名刺としてHPへアップ、会員への提供開始。12 月だるま定例会で正式運用開始とする。なおパソコン環境のない会員への提供は、作成依頼・作成者など含め継続検討する。

2. 「実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」の開催（主催：神奈川大学）

- ・5 月 1 日、第 1 回「講座運営委員会」開催。

運営委員会メンバー：田中（晃）（リーダー）、池田、伊東、稲垣、荏本塾長、小原、片山、紅林、高松、田中（喜）、早川、増田（佳）、森、山口（章）、山田（美）（計 15 名）

- ・以降 10 回の講座運営委員会を開催しカリキュラム・講師選定・受講生募集など詳細を決定。
- ・10 月 8 日～11 月 12 日 全 6 回（3.5 時間／回）で講座開催。 講座受講者 43 名
- ・開催場所：神奈川大学 KUポータスクエア
- ・総合司会：田中 晃 防災塾・だるま理事

<メインテーマ> 防災の実践事例を学び、地域力で生き延びる

第 1 回 テーマ「災害の発生と復興のまちづくりを評価する」

講師：荏本 孝久氏 神奈川大学工学部教授、防災塾・だるま塾長

第 2 回 テーマ「国県市の防災対策と今後の動きを理解する」

講師：杉原 英和氏 神奈川県安全防災局安全防災部 災害対策課長

講師：松下 圭吾氏 神奈川県保健福祉局保健医療部健康危機管理課
健康危機管理 グループ課長代理

第 3 回 テーマ「被災地の現実・本質を学び、地域で活かす」

講師：和知 治氏 横浜市総務局危機管理室危機対処計画課長

講師：岡野 敏明氏 公益社団法人川崎市医師会副会長

第4回 「防災・減災の実践事例を学ぶ」

講師：金 美羽氏（きむみう） 横浜市六角橋地域ケアプラザ所長
講師：篠原 憲一氏 ひらつか防災まちづくりの会代表
講師：濱田 政宏氏 ざま災害ボランティアネットワーク代表

第5回 「防災図上訓練で地域を知る」

講師：森 清一氏 公益社団法人SL 災害ボランティアネットワーク理事

第6回 「講座に参加しての総合評価と自分の目標を定める」

講師：片山 晋 氏 防災を考える会・磯子代表

*詳細は だるまHPを参照

添付資料 「防災塾・だるま」10周年記念誌 参照

3. 防災塾・だるまHPの維持管理

だるま事業活動の進展に伴い、HPによる発信情報の質的・量的な充実化に努めている。
そのためには、会員各位の活動に関する情報提供が不可欠であり、会員協力を要望している。
今年度発信した主な事業には次の活動がある。

- ・だるま月次会議などの記録掲載：役員会（会員専用ページ）、だるま定例会、談義の会
- ・防災塾・だるまの紹介：「だるま紹介チラシ」更新版及び英文版（Introduction）
- ・だるまイベント：10周年記念イベント
- ・地域貢献事業：県西地区
- ・だるま事業 活動参加・見学：広島・神戸の被災地を巡る（報告書、参加者の感想）
- ・講演資料：①「中小企業の災害耐力強化のポイント」（第119回談義の会）、
②「根府川大洞調査報告」（第123回談義の会）
- ・市民提案：「神奈川県地震防災戦略（改定素案）」に意見提出（緑区グループ）
- ・防災談義の会：「10年のあゆみ」
- ・実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座：
2015年「防災の実践事例を学び、地域力で生き延びる」
- ・J-DAG 関係：普及啓発用のチラシを作成し掲載
2013年12月掲載 J-DAG（発災直後の行動ゲーム）閲覧数 2,318回（3/17現在）
- ・防災関係資料：①小冊子「考える防災」、②「クロスロードとは？・・・こんなゲームです」
ホームページ閲覧数 1,357回（2/26現在）

4. 10周年記念イベントの実施

下記4弾のイベント及び10周年記念誌（3分冊）の作成を実施。

- ・第1弾：3月27日 第117回防災まちづくり談義の会 参加者 26名
新ゲーム誕生！「防災めくり」の解説・ゲーム体験
[特徴・狙い] 3人集まれば、誰でもどこでも手軽に！
クロスロードのゲーム性を「坊主めくり」式にアレンジ。
指導：片山 晋氏（だるま会員・ゲーム考案者）
- ・第2弾：6月13日「関東大震災 横浜の災害とまちあるき」開催 参加者 41名
第1部 講演会 横浜市情報文化センター
テーマ1「関東地震による神奈川県内の土砂災害」

講師：井上 公夫氏 一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構

テーマ2「よこはま防災まちあるき」

講師：相原 延光氏 関東学院中高等学校／神奈川総合高校地学講師

第2部 まちあるき ～貿易商・ブール氏の災害逃避行ルートをたどる～

講師：井上 公夫氏、相原 延光氏、茅野 光廣氏

・第3弾：前半 10月16日 第124回防災まちづくり談義の会 参加者 34名

「防災塾・だるま」活動への提言！！

提言者：杉原 英和氏 神奈川県安全防災局安全防災部 災害対策課長

渡辺 渉氏 神奈川新聞社報道部

中川 和之氏 時事通信社論説委員

上原 美都男氏 全国警備協会専務理事

：後半 11月27日 第125回防災まちづくり談義の会 参加者 31名

「防災塾・だるま」活動への提言！！からの意見交換・まとめ

『振り返って』⇒『課題』（高齢化と持続性）⇒『これからへ向けて』の意見交換

・第4弾：2月21日 神奈川県防災DB研究運営委員会 報告会・ワークショップへの参加・協力

報告会 平成27年度調査（県市町、自主防災・ボランティア団体等）結果報告

ワークショップ 「新たな展開を迎える神奈川県の自主防災・市民防災活動」

場所 神奈川大学1号館308号室 参加者 60名（内だるま会員 20名）

5. J-DAGの普及・レベルアップ

- ・1月、J-DAG紹介チラシ（カラー版1000部）を作成、配布開始。
- ・J-DAG開催依頼に対応するため、講師養成（受講証・終了証など発酵）ほか、だるまとして開催するための諸課題（規模、費用など）を役員会で検討。来年度も継続して検討する。

6. テーマ別に委員会などを組織し取組む活動

1) 防災・減災に関する意見提案（パブリックコメントなどへの対応）

神奈川県の「神奈川県地震防災戦略（改定素案）」に関する意見募集に関し、だるま全体としては意見集約ができなかったが、横浜市緑区グループでは、別個に意見提案を行った。

2) 地域防災への協力講座（地域貢献事業）

① 地域ケアプラザへの協力

・活動メンバー：片山（リーダー）、伊東、田中（喜）、高松、早川、山田（美）

・六角橋地域ケアプラザ（横浜市神奈川区）への協力

防災講座受講者の有志で発足した「防災サロン絆」（6月9日、10月13日、2月23日に開催）へオブザーバとして参加。

・川井地域ケアプラザ（横浜市旭区）への協力

今年度活動実績なし

・高田地域ケアプラザ（横浜市港北区）への協力

今年度活動実績なし

② 県西地区防災講座への協力

・6/14～11/8 全5回 松田町防災講座支援

企画：田中（伸） 講師：荏本塾長、杉原、伊東、片山、森

・7月8日 南足柄中学 J-DAGの実施

・1月16日 南足柄市防災講演

荏本塾長「神奈川県西部において想定される地震災害と地域防災の課題」

3) 学校防災への協力講座（地域貢献事業）

①横浜市港中学校

内 容：今年度は活動を行わなかったが引き続き協力していく。

28年度のカレンダーを生徒と先生向けに渡した。

4) 地域防災への協力活動（地域貢献事業）

①「ひらつかまちづくりの会」への協力

活動メンバー：山田（美）、添田

内 容 今年度はひらつかまちづくりの会のメンバーで対応。

② 千葉県建築士女性委員会への協力

活動メンバー：白田、中村（俊）、成松

内 容：防災・減災に関する防災セミナーを下記に開催。

・1月30日：CRQ（クロスロード）体験セミナー開催

場所：千葉県建築会館 参加者 48名

（平成27年1月30日：HUGワークショップを開催）

③ 横浜市男女共同参画センター（常光 明子氏 だるま会員）への協力

「ヨコハマわたしの防災カノート（だるま 編集協力）」をテキストとし活用されている。

④ 「はやま防災ネットワーク」への協力

活動メンバー：増田（佳）、片山

内 容：11月28日：「J-DAG」体験会（於 葉山町葉桜自治会 35名）

3月12日：「J-DAG」体験会（於 葉山町一色小学校 25名）

⑤ 横浜市青年会議所 Bo-sai-2015（日本大通りで開催）への協力

活動メンバー：片山、伊東、黒須、山田（美）、田中（喜）、田中（晃）、小原、青野、
三浦、稲垣、早川、鈴木（徳）、松井、山田（富） 計14名

内 容：9月6日助かるエリアでトランシーバ体験ブースを担当。体験者60名

⑥ 大和市自治会連絡協議会 への協力

活動メンバー：片山、伊東、田中（晃）、田中（喜）、玉井、西島

内 容：9月12日 J-DAGを午前、午後の2回実施。

5) だるま防災教育資料の編集・管理など

①J-DAG「発災直後の行動ゲーム」（考案 片山さん、監修 防災塾・だるま）

・活動メンバー：片山、中島、山田（美）

- ・トランシーバ 6 台を含む J-DAG 実施に必要な材料一式をだるまに常備済み。
- ・ J-DAG 経験 2 回以上のだるま会員を普及員として J-DAG 修了証を発行予定。

6) 会員向け学習会の開催

- ① J-DAG 研修会：今年度は開催実績なし。

7) 防災活動団体との交流

神奈川県大井町との交流

- ・ 11 月 23 日 大井町社協主催のボランティアフェスティバルに参加・見学及び大井町間宮町長と懇談（荏本塾長、池田さん）

7. 土木学会との交流

今年度活動実績なし

8. 「神奈川大学防災センター」への参加協力

- ・東日本大震災を契機に「神奈川大学大規模災害対策研究プロジェクト」立ち上がり、大学の地域貢献として「防災連続講演会」の開催支援やプロジェクト担当教員の調査活動への補助をおこなっている。
- ・このプロジェクトの一環として「神奈川大学防災センター（仮称）」設立ための設置準備室が 2016 年度に開設された。2017 年から、スタッフ 2 名が週 3 日在室し、防災センター（仮称）の設立に向けて活動を始めた。

9. 文科省「地域防災対策支援研究プロジェクト」への参加・協力

採択事業「神奈川県に係る防災研究データベースの活用を起爆剤とした官学民連携による地域防災活動活性化研究」3 年目の活動協力。

- ・自主防災活動・市民防災活動団体へのアンケート調査項目に関する検討
- ・諸団体へアンケート調査回答の協力要請
- ・イベント開催への参加・協力

2 月 21 日：神奈川県防災 DB 研究運営委員会 報告会・ワークショップへの参加・協力
場所 神奈川大学 1 号館 308 号室 参加者 60 名（内だるま会員 20 名）

- ・イベント参加：

3 月 6 日：自助・共助シンポジウム（場所 神奈川県庁、主催 神奈川県安全防災局）
「地域防災対策支援研究プロジェクト」神奈川県事例発表会への参加。

3 月 15 日：平成 27 年度「地域防災対策支援研究プロジェクト」成果報告会への参加
（場所 イイノカンファレンスセンター 主催 文部科学省）

10. 神奈川県「防災教育強化事業」への協力（新規）

- ・県からの協力要請の内容が確定せず、当初「クロスロード」等のゲームを実施する予定で協力要請があることを想定していたが、後年度の事業についての開催時期、場所、内容を確定できなかったため、今年度は講演会（下記）として実施された。
- ・今後の県の方針としては、5 年間程度の事業継続を実施する計画があり、次年度以降、事業への協力要請も検討中とのこと。

11. その他

- ・神奈川県 ボランティア団体成長支援事業への申請

平成 28 年度の募集に対し、防災塾・だるまとして事業名：「神奈川県の地域防災活動支援ネットワーク“絆”強化事業」（期間：平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 3 月 20 日）の企画提案書を作成・申請（1 月 31 日）を行う。

〔参加・見学など〕

1. 「広島土砂災害」及び「神戸市 1. 17 追悼のつどい 2016」への参加

参加者：相原、池田、植山、小林、田中（晃）、田中（喜）、中島、早川、増田、山口（章）、山田（美）、・・・11 名

現地の協力：山根健治氏（広島市八木ヶ丘町内会副会長）、今田健太郎氏（広島弁護士会）、松山順三氏（元神戸市職員）

参加内容：①広島土砂災害現地訪問 ②広島弁護士会の災害支援活動 ③旬の料理店「なかしま」での懇親会 ④松山先生懇親会（神戸市内「ローテローゼ」にて）⑤神戸市 1. 17 追悼のつどい ⑥その他各自のオプションによる参加見学

その他：2 月 27 日「談義の会」にて参加報告会を実施（HP に掲載）

2. 防災ギャザリングへの参加 「防災ギャザリング 2016 from かながわ」

実行委員会への参加：森（委員長）、植山、小原、高松、田中（喜）、宮川、山口（昭）
会場である横浜市民防災センターの改修工事（2016 年 4 月 1 日リニューアルオープン）のため 5 月 14 日（土）フェア開催予定。

グループ展示・実演（於 横浜市民防災センター及び沢渡中央公園）

～自分・家族・地域を守るための減災の「技」を体験しよう！～

3. 3.11 被災地から学ぶ

1) 被災地訪問

今年度実績なし

2) 講演会など被災地の状況を学ぶ

- ・7 月 31 日 第 121 回談義の会 講師：岡本 正氏（岡本総合法律事務所 弁護士）
テーマ「東日本大震災 4 万件の声から 生活再建の知恵の備えを」
- ・12 月 18 日 第 126 回談義の会 講師：佐藤孝治氏（神奈川大学経済学部教授
テーマ「巨大災害と失敗の教訓」 防災塾・だるま顧問）

以 上